

TARISA WATANAGASE

Former Governor of the Bank of Thailand (2006–2010)

LONDON
SPEAKER
BUREAU



タリサ ワタナガセは、1975年にタイ銀行に入社し、2006年から2010年まで総裁に就任しました。彼女の銀行での35年間のキャリアには、すべての主要な中央銀行機能の責任が含まれていました。彼女は、1997年のタイの危機の解決と、その後の監督および金融セクターの改革、タイの決済システムの近代化に尽力しました。これには、アジアで最初の和解リスクのない高価値の資金移動、新しいBOTの通過と採用の成功が含まれます。2008年に制定された法律により、中央銀行の独立性と、2008年の世界的な金融危機を通じて経済と銀行部門の成功を収めることが保証されました。タイ銀行に勤務している間、彼女はタイの国家経済社会開発委員会と委員会のメンバーでもありました。証券取引委員会と保険委員会の。

Topics

- Asia
- Economics
- Strategy
- Women

現在、彼女は東南アジアの大手ビジネス コングロマリットである SCG の取締役を務めています。三菱UFJフィナンシャル・グループ、MUFG、日本、プロモントリ、IBM の会社、ワシントン DC、米国、Ramathibodi Hospital Foundation、Heart Foundation of Thailand、Private Sector Collective Action Coalition against Corruption などの非営利団体。彼女の国際機関での主な経験には、IMF でのエコノミスト、IMF、世界銀行グループ、地域中央銀行の短期コンサルタント/アドバイザーとしての勤務が含まれます。タリサは、中央銀行と金融部門の問題について頻繁に講演し、これらの主題に関する多数の記事の著者でもあります。

慶應義塾大学で学士号と修士号を取得し、博士号を取得しています。セントルイスのワシントン大学で経済学を専攻。